

# 秩父鉄道株式会社 安全報告書 2022



1. 経営責任者からのメッセージ
2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標
3. 安全管理体制と方法
4. 輸送の安全への取り組み
5. 安全確保のための教育・訓練
6. 鉄道事故等に関するご報告
7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

## 1. 経営責任者からのメッセージ 「安全報告書2022」の公表にあたって

日頃より、秩父鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。安全報告書2022の公表にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

2021年度は、電気機関車五重連による聖火リレーの輸送など明るい話題も提供させていただきましたが、新型コロナウイルス感染症変異株発生により移動需要は大きく減少し、鉄道事業を取り巻く環境は厳しい状況で推移しました。引き続き全従業員のマスク着用や手指のアルコール消毒、駅設備等の消毒、全列車内の抗ウイルス・抗菌加工、窓開け等を実施し、お客様や従業員の感染予防の徹底を図り列車の運行に務めました。また、感染症対策の一環ともなる非接触型ICカード乗車券システムの導入によりお客様の利便性やサービスの向上を図りました。

輸送の安全性向上につきましても、マルチプルタイタンパーや継電連動装置の更新、コンクリート枕木化、事故のあった第4種踏切道の第1種踏切道への改修、激甚化する大雨災害に備えた浸水時の車両退避計画の策定等をいたしました。

本報告書は、鉄道事業法に基づき2021年度における安全輸送のための取り組みや輸送の実態を紹介するため発行いたしました。皆様方の声を、今後のより一層の安全性向上に役立てるため、率直なご意見とご感想をお聞かせいただけると幸いです。

秩父鉄道株式会社  
代表取締役社長 牧野英伸



## 2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標

### (1) 安全に関する基本方針

常に安全最優先の意識を持ちお客様へ「安全・安心・安定輸送」を提供するため、これまでの秩父鉄道安全管理規程「安全に関する基本的な方針」を、2021年12月23日付にて制定した「安全基本方針」へと改め、「安全行動規範」は社員等の安全に関する基本行動として徹底しております。

#### 「安全基本方針」

- ① 「安全最優先」が鉄道事業の最大かつ最重要の根幹であることを認識し、一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全確保に関する法令、規程を遵守し、誠実に職務を遂行します。
- ③ 安全管理体制を適正に運用し、維持・向上に努めます。

#### 「安全行動規範」

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

### (2) 安全目標

さまざまな安全性向上施策に取り組むため「安全基本方針」「安全行動規範」を遵守し、社内に安全風土、安全文化を構築、確立し、安全最優先の原則を遵守、徹底します。

#### “スローガン”

**感染症対策の着実な実施と常に安全最優先を意識した無事故の継続**

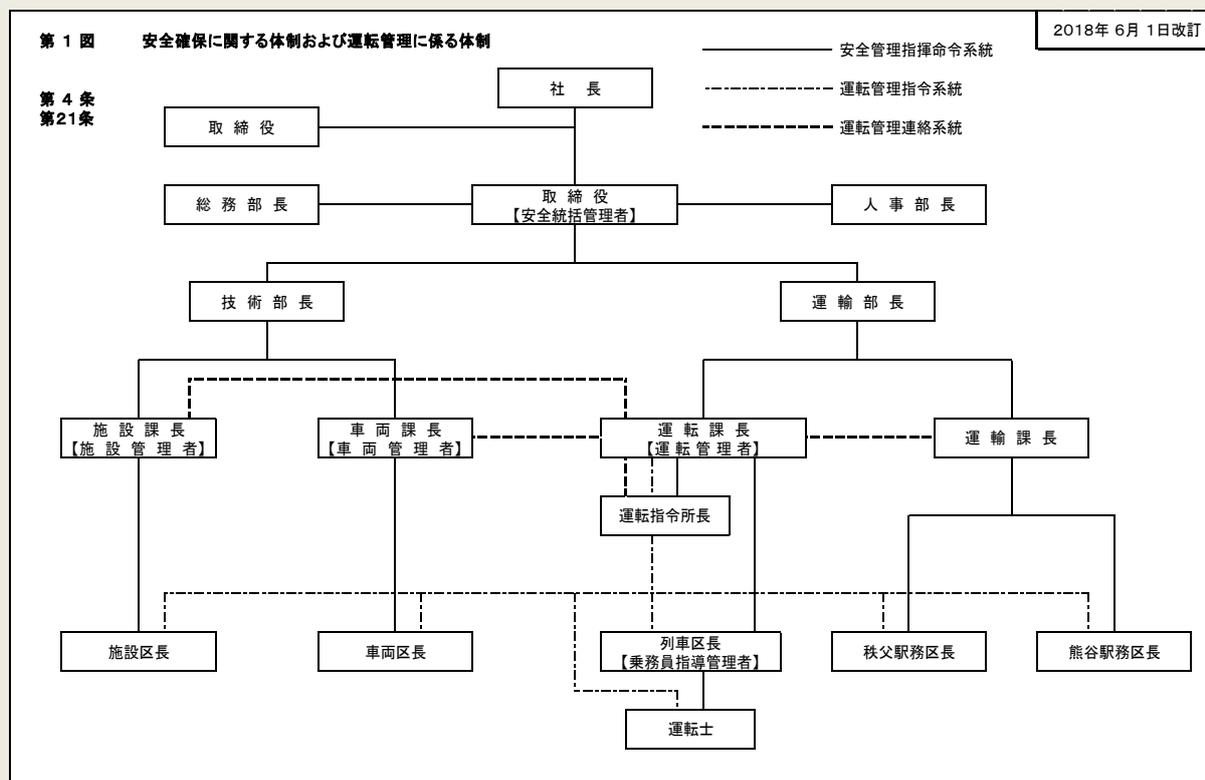
### 3. 安全管理体制と方法

#### (1) 安全管理体制

2006年10月1日に制定された「秩父鉄道 安全管理規程」では、社長を最高責任者とし、社長が選任した安全統括管理者のもと、安全推進の管理体制を確立し、各管理者の役割と権限を明確に定めております。

役 職	役 割
社 長	安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための最終的な責任を負う。
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
技 術 部 長	安全統括管理者の下、施設、車両に関する業務を統括する。
運 輸 部 長	安全統括管理者の下、運転に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総 務 部 長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務に関する事項を統括する。
人 事 部 長	輸送の安全の確保に必要な人事に関する事項を統括する。

(組 織 図)



## (2) 安全管理の方法

### ① 運転事故防止対策委員会

輸送の安全確保を目的に、安全統括管理者を委員長とする「運転事故防止対策委員会」を毎月1回開催し、事故、災害等が発生した場合の対応・処置を検証し、ヒヤリハット報告事案の分析、事故防止に関する事項、再発防止策の立案・決定を行っております。

### ② 職場巡視

社長、役員、各部課長が、夏季運転無事故運動、年末年始輸送安全総点検の運動期間中各職場を訪問し、安全に関する取り組みや創意工夫等について、各所属員と直接対話することにより安全性の向上と一人ひとりの安全意識の高揚を図っております。



夏季運転無事故運動



年末年始輸送安全総点検

### ③ 内部監査

鉄道輸送における安全管理体制が構築され、適切に運用し継続的に機能していることを確認するため定期的に実施しております。2021年度の社長（経営トップ）へのインタビューでは、安全輸送の確保を第一に自然災害の被害を最小限に防ぎ、感染症対策の着実な実施により鉄道事業継続への取り組みを推し進めていることを確認しました。

現業職場長に対しては、安全管理規程その他規程類に適合し遂行されていることを確認しました。

#### 4. 輸送の安全への取り組み

2021年度も列車運行の安全性の確保・維持と改善、旅客サービスの向上のため、安全対策・修繕工事を実施しました。これらのうち主な取り組みについてご紹介いたします。

### 安全重点施策

2021年度の安全対策工事と主な修繕費

安全対策更新工事	754,365千円
主な線路修繕工事	103,491千円
主な電気修繕工事	20,612千円
主な車両修繕工事	115,077千円
計	993,545千円



更新されたマルチプルタイタンパー

※2021年度に繰り越しておりましたマルチプルタイタンパー更新が終了し、夜間作業にて軌道整備を行っております。

#### (1) 2021年度の安全対策工事 施設関係

##### ① 並・分岐・橋・継目枕木交換

経年劣化した並枕木、分岐枕木、橋枕木、継目枕木3007丁（内1700丁PC枕木化）の交換を実施しました。



PC枕木化実施区間（武川駅～永田駅間）

##### ② 軌道整備

道床碎石を1800t補充のうえ、マルチプルタイタンパーによる軌道整備を59830m実施しました。

### ③ 踏切道の安全性向上

第4種踏切道1ヶ所を警報機、遮断機のある第1種踏切道へと整備し、踏切支障報知装置（押しボタン）を設置して踏切道の安全性向上を図りました。



第1種踏切道へと整備した羽生No.22 踏切道

### ④ 架線の張替

摩耗や経年劣化が進んだ吊架線805mの張替えを実施しました。また、経年した配電線を150m張替えました。

### ⑤ 水害対策

法面の土砂崩壊を防ぐため、武州日野駅～白久駅間のコンクリートキャンパス工事を実施しました。

## (2) 2021年度の主な車両修繕工事

### 車両関係

① 7800系用 SIV 電源装置更新工事を行いました。 8,300千円

② 列車無線装置更新（アナログ無線から IP 無線）工事を行いました。

106,777千円



旅客列車運転台搭載 IP 無線機



電気機関車運転台搭載 IP 無線機

## 5. 安全確保のための教育・訓練

### (1) 現業職場における各種訓練

夏季運転無事故運動・年末年始輸送安全総点検等の運動期間中に異常時を想定した訓練を実施する他、乗務員には経過年教習等の実施、鉄道技術講座の受講（施設関係・車両関係）や他事業者へ出向いての講習会等、係員の知識向上を目的として取り組んでおります。



貨車連結訓練（駅務員）



ポイント融雪器取扱い訓練（駅務員）



列車防護訓練（乗務員）



車両教習（新人乗務員）



単独乗務1年経過教習（乗務員）



マルチプルタイタンパー講習（施設係員）

## (2) 異常時総合訓練

この訓練は、踏切事故等重大事故が発生した場合を想定して、当社運輸部・技術部および埼玉県熊谷消防本部員の多数参加により実施しておりますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から2021年度も未実施となりました。

## (3) 防災訓練

毎年9月1日の防災の日または防災週間に、大きな地震が発生した場合を想定して、旅客列車の運転を一斉に停止させ、関係各所へ確実な情報を伝達し、震度階判明に伴う列車の減速運転、橋梁・法面等に出動しての施設・設備点検が安全に行えるよう訓練しております。

2021年度は、九都県市防災訓練日程に合わせ11月に実施しました。



情報伝達訓練



現地出動訓練



施設・設備点検（擁壁継目）



施設・設備点検（橋梁）

## 6. 鉄道事故等に関するご報告

2021年度に発生した「鉄道運転事故」「輸送障害」「インシデント」の発生件数は、以下のとおりです。

### 「鉄道運転事故」 4件（全て踏切障害事故）

列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故をいいます。（自殺と思われるものは、鉄道運転事故に含まれません。）

### 「輸送障害」 4件（車両故障1件、自然災害3件）

列車の運転を休止したものとまたは30分以上の遅延を生じたものをいいます。

### 「インシデント」 0件

運転事故が発生する恐れがあると認められた事態をいいます。

## 7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

### （1）サービス介助士資格の取得

社会の高齢化が進む中、多くのお客様に対して安心して鉄道をご利用いただけるよう、職員のサービス介助士資格の取得を推進しております。2021年度は、新たに駅係員、列車乗務員、その他職域を含む8名が資格を取得し、取得者は総計83名となりました。

### （2）AEDの設置

お客様の急病等万一の事態に備え、羽生、熊谷、明戸、武川、永田、ふかや花園、小前田、寄居、長瀬、秩父、御花畑駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しております。

### （3）こども110番の駅

鉄道を利用して通学や学習塾などに通うお子さまを危険から守り、より一層安心して駅を利用していただく環境作りと地域への貢献を目的として「こども110番の駅」の取り組みに羽生、熊谷、武川、寄居、長瀬、秩父、御花畑、影森、三峰口の9駅にて参加しております。

### （4）埼玉県防犯のまちづくりに関して

「埼玉県防犯のまちづくりに関する協定」に基づき、こどもや高齢者等を犯罪から守るための見張り活動、犯罪や不審者認知時の積極的な110番通報等について更なる協力をを行うために次の取り組みを宣言しております。

◇駅（事業所）に助けを求めてきた場合に保護、110番通報等の対応を行います。

◇社用車を運転中に犯罪を認知した場合に110番通報等の対応を行います。

